

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372300901
事業所名	グループホーム樹の里

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2) コロナ禍によって地域交流が制限される中、一定の関わりは継続している。隣接する幼稚園の運動会をフェンス越しに見物して楽しみ、園児がホームに向けて遊戯を披露してくれることもある。地域の「花いっぱい運動」では、職員がもらってきた花の苗を、利用者も手伝って花壇に植える姿がある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3) 2ヶ月に1度運営推進会議を開催しており、過去1年間の6回の開催中、2回は対面での通常開催ができた。書面開催となった4回は、ホームの状況を報告書にまとめ、その中で身体拘束廃止委員会の報告も行っている。報告書は、運営推進会議のメンバーと家族全員に送付されている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4) 市の実地指導は、担当者がホームを訪問しての調査となったが、介護計画の指導・点検はリモートで実施される予定である。対面で開催される運営推進会議には、市の職員や地域包括支援センターの職員が行政枠で出席している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6) 家族面会が制限される中でも、家族の来訪時や電話連絡の際に、ホームの状況や利用者の近況を伝えている。現在は条件付きで家族面会を認めている。家族のワクチン接種を確認し、ロビーでシールド越し、1家族3名、15分の時間制限を設け、月に2回を限度としている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

【備考欄】

2ヶ月に1度運営推進会議を開催しており、過去1年間の6回の開催中、2回は対面での通常開催ができた。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								